



会 報
45 号

ながめ

発行人 五十嵐 立男
編集長 峯 村 清 志

デザイン 池田満寿夫

3 月末現在賛助会員数 長野地区 543 人、 県全体 3,182 人

5 月 25 日(木) 別館 2F
H29 年度長野地区賛助会定期総会

平成 29 年度 定期総会 次第

- 第 1 号議案 平成 28 年度長野地区賛助会事業報告 及び 収支決算について
第 2 号議案 平成 29 年度長野地区賛助会事業計画(案)・収支予算(案)について
第 3 号議案 その他 1 グループ 3 名以上のご参加をお願いします

講演 「薬の正しい使い方」 講師 県健康福祉部薬事管理課職員



講話「漢字に親しむ会」2月16日
要旨は2面にあります

講師 寺田準 氏



地区賛助会の原点として活躍

賛助会長 五十嵐立男

人生の生き甲斐を本部開発センターの指導のもとに、企画運営、そして長野地区賛助会それぞれのクラブ独自の事業計画に基づき、活動し、長野地区賛助会の成果を更に盛り上げていきたいと思っています。

ひとつの例として先日、漢詩の成り立ちを学ぶ講座が寺田準会長講師の基、開かれました。一般聴衆を含め 50 人余りが、漢字の成り立ちや漢字訓読の基本を学んだ。今後とも各クラブの発表会やクラブの講座等を実施する事により更に賛助会が発展し充実して行くものと思っています。

その原点として、長野地区賛助会による年間スケジュールに基づいて活動していくことです。具体的には会として親睦スポーツ交流会・信州ねんりんピクニックスポーツ交流大会等を含む。更に会としての重点的な行事は「長野地区賛助会員の集い」です。それぞれのクラブの年間活動の成果の発表の場として大きな期待が架かっています、頑張ってください。

シニア大生への賛助会入会を積極的に勧めるなど、新年度も年間活動計画に併せて地域に貢献する賛助会活動をしたいと考えています。

「漢字に親しむ会」を開催

2月16日

長野漢詩会

会長 寺田 準

長野地区賛助会行事の一環として、標記講演会を開催し五十数名の参加があった。概要は次のとおり。

漢字の六書 成り立ち別に象形、指事、会意、形声、転注、仮借の事例。形声が圧倒的に多く、仮借は外国語の表記などに使われている。唯一表意文字である漢字の旧字、常用漢字、異体字、国字、四声、平仄、漢詩の押韻について。

漢字の変遷 漢字は四千年以上前に古代中国の殷王朝で作られ、仏教とともに日本に入り、漢詩は源氏物語や枕草子など日本文学に大きな影響を与えながら発展して江戸時代に最盛期を迎えた。戦後、漢文教育が軽視されたことも相俟って漢文、漢詩が衰頹した。中国が簡体字に、北朝鮮と韓国がハングルに変わり、しっかりした漢字が残るのは日本と台湾のみとなった。漢字圏にある国として奎運の復活が喫緊の課題となっている。甲骨文字、金文、篆書、隸書、楷書、行書、草書と時代とともに変わった書体について。

漢字の音と訓 音読みの呉音(東京)、漢音(京城)、唐宋音(南京)、慣用音(施主・原音シ)。訓読みの、正訓(山・川)、義訓(七夕)、国訓(鮎)、重箱読み、湯桶読み、訓点、送り仮名について。

音読みの漢字に対して日本流の訓読みを編み出し、漢字から平仮名、片仮名、訓点を発明して漢文を読めるようにした先人の功績が大きい。

主な部首 偏・旁・冠・脚・構・垂・繞の七つの名称を覚えておくと漢和辞典の検索や字体を人に伝える際に使え、読めない漢字も旁で読みの見当がつく。

誤り易い漢字 己(キ・コ・おのれ)、巳(イ・すでに)・巳(シ・み・へび)。師(シ・いくさ・先生)、帥(スイ・ひきいる)。網(モウ・あみ)、綱(コウ・つな)など、一点一画が違ふと別の字になる。

同字異音異義 楽…ガク(おんがく・楽器)・ラク(たのしむ・楽園)、重…ジュウ(おもい・重病)・チョウ(かさなる・重陽)、(たいせつ・貴重)など音が変わると意味の変わる漢字。

日中で意味の異なる漢語 遠慮(他人に控えめにする・遠い将来を見通す)、経済(金銭、物資の流通・経世済民)、故人(死んだ人・旧友)、人間(ひと人類・世間)、など全く別の意味になる。

同訓異字 同じ読みでも意味の異なる字。おもう…念(いつも心にかかる・念願)・思(考える・思考)・想(おもいをはせる・想像)・憶(心に忘れない・記憶)・懐(胸の中におもいいたく・懐旧)など。

故事成語ことわざ 資料の230句余りから、解説を交えて全員で音読した。青少年の情操教育に大いに役立つが学校ではあまり教えないので家庭での対応が必要になる。また、年令を表す志学・笄年・弱冠・加冠・而立・壮年・不惑・強壯・知命・耳順・還暦・華甲・古稀・從心・杖家・杖郷・杖国、杖朝などの出典について。

資料は昨年夏休みに青少年を対象にした課外授業をレベルアップした内容で25頁。当日の様子は2月21日付の長野市民新聞に写真入りで掲載された。

しゅんや 春 夜	そしよく 宋 蘇軾	時節の漢詩 七言絶句 (書き下し文)
しゅんしょういつこく 春 宵 一 刻	あたせんきん 値 千 金	はな せいこう あ つき かげ あ 花に清香有り 月に陰有り
かかん ろうだい 歌 管 楼 台	こえせきせき 声 寂 寂	しゅうせん いんらく よるちんちん 鞦 韆 院 落 夜 沈 沈

春の宵はまことによいもので、ほんのひと時でも千金もの値打ちがある。花は清らかな香りを放ち、月はおぼろにかすんで見える。高殿では先程まで歌声や笛の音が賑やかであったが、今はそれも止み、ひっそりと静まりかえっている。ブランコのある中庭のあたりも夜はしんと更けてゆく。

歌管…歌と管楽器で宴会。楼台…高殿。鞦韆…ブランコ。院落…中庭。沈沈…夜がしめやかにふけていくさま。この詩から「一刻千金」の成語が生まれた。

漢詩は定型詩で平仄、押韻など一定の規則が分かれば、自分の気持ちを格調高く表現することが出来る。「体験学習」を歓迎していますので気軽にお声をおかけください。

「賛助会」へ入会して 寺嶋利光

長野県シニア大学、あっという間の2年間とも思えた。70代となって先輩各位の向学心に燃えている姿が、あまりにも生き生きと映り、自分で魅せられるものを感じたのである。



見ず知らずの方々との出会いの中で班を中心に時には、高度な教養講座にしゃんとし、時には、心解けあい笑顔に暮れる日であった。「今日、行く(教育)ところがあった。帰りに、今日、用(教養)があった」と一人喜びながら帰路についた日々。そうしたときに賛助会の皆様からのお誘いがかかり、**賛助会と「IT・Sの会」へ入会させていただきました**。早速、12月からの新会員学習会が始まり4回

の学習会も間もなく終了して、4月からは正会員になります。3月は「妙義山・モミジの湯」アウトドア行事にもお誘いいただいております。殊に「IT・Sの会新年会」では、一杯も盛り上がる中、先輩諸氏互いの持てる余興に興じる姿は、仲間同士の絆の現れと感動しました。

今一つ、講座の中でも私たちが今後の暮らしを豊かなものにするに大切な社会参加活動に向けて活動したいという目標で「民話ゆりかご会」を立ち上げることになりました。

先輩諸氏と共にこれからの活動が長寿社会で求められる「健康寿命」伸長に繋がれば社会でも自身にとっても幸せなことと思います。

どうぞ宜しくお願いいたします。

大震災から6年 私たちは新しい活動も続けます

被災地オテガミプロジェクト推進チーム 会長 久保田洋一

日頃私共オテガミプロジェクト活動に、温かいご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様で活動の幅も広がり、昨年は陸前高田と長野双方での絵手紙展や現地へ行つてのコーラス交流、オテガミも手紙や絵手紙の他、花や野菜の種、寒さに向けての手編みマフラー62枚、唱歌集100曲30冊・クリスマスリース15枚。2月には桜の花木70本など寄贈して、現地の皆様に大変喜ばれました。

大震災から6年、現地陸前高田も「かさ上げ地」に建物が初めて姿を見せ、民泊や水産業等にも「新しい陸前高田」への息吹が感じられてきました。半面、若年層の流出と高齢化の進行、新しい住居での暮らしの再建、地域での絆づくりなど課題も山積しています。仮設住宅も30年以降600世帯以上も残る見込みで、被災地の復興は正

にこれからが正念場と言えます。私たちはこれからも「ひとりじゃないよ」と伝え、応援し続けたいと考えています。

今年は私たちの活動テーマは通常のオテガミ(金銭以外の被災地への想い)取次以外に、今のところ次の2つを考えています。それは

① 陸前高田の語り部をよんで防災・減災・風化防止キャンペーン

既に昨年から、長野市内全小学校67校、県下全上場企業に案内状を送付済みで、現地関係先との根回しも済んでいます

② (株)バリューボックスと提携して、今春再開予定の「陸前高田市立図書館」再建事業に協力します

これまでのオテガミ協力者、約550人に古書の供出で協力をお願いする予定です。どうかご支援をお願いします。

私たちのバックにいる大勢の陸前高田を想う方々と、知恵を働かせてこの他にも被災地を元気にする良いアイデアを考えて参ります。どうか今年も引き続きよろしくご支援をお願い致します。

平成29年度2つの課題

① 夏休み子ども体験教室開催

☆昨年「シニア太極拳部・被災地オテガミ・長野漢詩会・スマイルフレ・吟和会」、5つのグループは普段の学校教育では成し得ない「夏休み子ども体験教室」を初めて開催し、思い出に残る大きな成果を収めました。

☆H29年度は賛助会事業として早々に「実行委員会」を立ち上げてPRや会場設定などを協議して前進を図りたいと思います。

☆更に公民館等で発表会や交流会を以て、夏休みの楽しい思い出として残せればと思います。

② 賛助会とグループは同時加入

☆我が「IT・Sの会」はH29年度入会の新会員11名全員が賛助会にも同時加入され、賛助会員数は40名を超えました。

☆昨年末からの4回の新会員学習会も終了、3月末にはバスを貸し切つての旅行も楽しみ、4月からは正会員となります。

グループ長様へお願いします。

シニア大生向けPRでは「グループ加入と賛助会の同時加入を積極的に勧めて頂きたいのです」。

「数は力なり」 お願い致します。

賛助会副会長 峯村清志

月	日	曜	事業名	時間	場 所	内 容
4	6	木	編集会議	14:00	別館サロン	夏休み子ども体験教室実行委員会 28年度会計監査他 総会提出議案検討
	17	月	会報45号発行			
	19	水	四役会① 幹事会①	9:30 13:30	別館サロン 別館2階	
5	9	火	シニア大学入学式	10:00	若里市民文化ホール	賛助会会長出席
	25	木	29年度長野地区賛助会定期総会	13:30	別館2階	定期総会及び講演会
6	1	木	幹事会②	13:30	別館2階	スポーツ交流会他
	22	木	親睦スポーツ交流会	10:00	サンアップル体育館	
7	6	木	編集会議	14:00	別館サロン	信州ねんりんピックについて 夏休み子ども体験講座 賛助会員の集いについて
	18	火	会報46号発行			
	20	木	幹事会③	13:30	別館2階	
8	24	木	四役会② 幹事会④	11:00 13:30	別館サロン 別館2階	賛助会員の集い ・シニア大賛助会入会説明
9	21	木	四役会③ 幹事会⑤	11:00 13:30	別館サロン 別館2階	賛助会員の集い ・シニア大賛助会入会説明
	30	土	信州ねんりんビックススポーツ交流大会		茅野市 運動公園	
10	5	木	スポーツ交流会	13:30	コスモス長野	マレットゴルフ
	6	金	編集会議	14:00	別館サロン	
	16	月	会報47号発行			
	20	金	賛助会員の集い	8:45	県社会福祉総合センター	各グループによる創作実技発表 ・ステージ発表
11	9	木	幹事会⑥	13:30	別館2階	賛助会員の集いの反省について 他
	14	火	シニア大生への賛助会入会説明	9:30	県社会福祉総合センター	グループ長参加
	15	水	〃	9:30		
12	1	金	信州ねんりんピック		駒ヶ根市 文化会館	・高齢者作品展（12月1日～12月3日）
	2	土	・式典等(2日)			
	3	日				
	14	木	四役会④ 幹事会⑦	11:00 13:30	別館 別館2階	30年度事業計画及び役員改選他 (終了後忘年会)
1	5	金	編集会議	14:00	別館サロン	30年度事業計画(案)役員改選他 賛助会会長出席
	15	月	会報48号発行			
2	8	木	幹事会⑧・親睦文化交流会	13:30	別館2階	30年度事業計画(案)役員改選他 賛助会会長出席
	21	水	シニア大学卒業式	10:00	若里市民文化ホール	
3	22	木	四役会⑤	13:30	別館サロン	役員改選及び30年度定期総会他

※ その他、本会目的達成に必要と認める事業及び幹事会等会議を随時開催する。

※ その他、本会目的達成に必要と認める事業及び幹事会等会議を随時開催する。

◎ 「りらく」並びに「会報」は、発行後直近の幹事会で配布しますので、受領してください。